

3 校務DX計画

○提言

- ・「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」（令和5年3月）
- ・「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）
～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」（令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）

○チェックリスト

- ・「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年9月）

クラウドツールを活用した教職員間の情報交換

クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進

- 1 教職員間の情報共有や連絡に Teams を活用している。
- 2 児童生徒への各種連絡に Teams を利用している。保護者への連絡ツールについては、各学校で導入している。
- 3 宿題については、一部学校、学級でクラウドサービスを利用している。定期テストの実施や採点や集計については、現在はクラウドサービスを利用していない。
- 4 令和7年度10月の調達後は、クラウドツールをより効果的に活用することが可能になり、上記の課題については、解決できる予定。

校務処理の負担軽減

- ・校務支援システムへの不必要な手入力の廃止。

会議資料のペーパーレス化

- ・資料についてクラウドサービス等を利用し、ペーパーレス化が進んできている。令和7年度10月以降は、より多くの場面でペーパーレス化が見込まれる。

学校と保護者間の連絡手段のデジタル化

- 1 児童生徒の欠席、遅刻、早退連絡についてクラウドサービスを多くの学校で利用している。令和7年10月以降は、保護者からの欠席連絡が、校務支援システムに自動反映される予定。
- 2 保護者への調査・アンケート等に対して一部、クラウドサービスを利用して実施・集計している。
- 3 保護者からの問い合わせや連絡についてクラウドサービスを利用した受付・回答は、実施していない。また、今後もその予定はない。
- 4 保護者との面談や説明会等では、ほとんどオンラインサービス形式では、実施していない。今後は環境面が充実することで、活用も広がってくると考えられる。

不合理な手作業を一層

FAXによる交信の廃止、書類への押印廃止

- 1 現在、減ってきてはいるが、一部業務においてFAXを使用している。令和7年10月以降は、運用面が整い次第、業務でのFAX使用は廃止する。
- 2 保護者・外部と押印・署名が必要な交信については、多くの面で廃止されてきている。令和7年10月以降は、デジタル環境が整備され、不要な押印、署名については、廃止される予定。